

4. 年間の主な行事

月	主 な 行 事
4	新任式・1学期始業式・入学式・PTA総会（紙上）・避難訓練（地震）・健康診断
5	教育相談・引き渡し訓練・3年フォレストリースクール・6年チャレンジスクール
6	プール開き・4年校外学習
7	5年臨海学校・一学期終業式
8	夏休み
9	二学期始業式・5年カヌー教室・1、3年校外学習・就学時健診
10	運動会・市、県陸上記録会・2年校外学習・避難訓練（地震）
11	5年校外学習・6年修学旅行・学校公開・校内マラソン大会・人權集中学習・教育相談
12	学校保健委員会・2学期終業式
1	3学期始業式・書初め大会・校内書初め展・3年はたおり体験・移動音楽教室・
2	新入学児童保護者説明会・学習参観・6年生を送る会
3	卒業式・修了式

5. 校務分掌

☆ 専門委員会担当

- | | |
|-----------|-----------|
| ・代表 …………… | ・図書 …………… |
| ・給食 …………… | ・保健 …………… |
| ・体育 …………… | ・美化 …………… |
| ・飼育 …………… | ・栽培 …………… |
| ・放送 …………… | |

☆ クラブ担当

- | | |
|------------|--------------|
| ・卓 球 …… | ・バスケットボール …… |
| ・野外スポーツ …… | ・テーブルゲーム …… |
| ・科学・工作 …… | ・イラスト …… |
| ・家庭科 …………… | ・音楽 …………… |

6. 校時表

職員出勤 8:15 児童登校 8:20	月	火	水	木	金
8:15 ~ 8:20	諸準備				
♪ 8:20 ~ 8:25	出席確認・健康観察				
8:25 ~ 8:40	朝読書 <ん<ん	朝読書 <ん<ん	朝読書 <ん<ん	朝読書 <ん<ん	朝読書 <ん<ん 集会
♪ 8:40 ~ 9:25	①				
9:30 ~ 10:15♪	②				
10:15 ~ 10:35	休み時間				
♪ 10:35 ~ 11:20	③				
11:25 ~ 12:10♪	④				
12:10 ~ 13:00	給食・はみがき				
13:00 ~ 13:15	昼休み 13:00~13:25 ⑤ 13:25~14:10	清掃			
13:15 ~ 13:40		昼休み			
♪ 13:40 ~ 14:25♪		⑤			
14:30 ~ 15:15	帰りの会 下校14:25	⑥	帰りの会 下校14:40	⑥	⑥
帯学習授業終了後15分		帯学習 (英・総) 帰りの会 5h=下校14:55 6h=下校15:45	委員会クラブ 14:45~15:30	帯学習 (英・総)	帯学習 (英・総) 帰りの会 5h=下校14:55 6h=下校15:45

7. 児童数・地区別児童数

(1) 学級編成					(2) 町内(区域)別児童生徒数							
学年	学級(名)	男	女	計	町名	1	2	3	4	5	6	計
1	1-1	10	7	17	保 泉	11	6	12	6	6	7	48
	1-2	11	6	17	保泉一	2	0	5	6	8	4	25
2	2-1	8	12	20	上 武 士	5	6	8	7	8	7	41
	2-2	8	12	20	下 武 士 西	8	8	8	13	6	4	47
3	3-1	10	12	22	下 武 士 東	4	17	9	14	16	9	69
	3-2	11	11	22	小 此 木	4	1	3	2	2	2	14
4	4-1	8	14	22	その他	1	4	0	1	1	0	7
	4-2	8	15	23								
5	5-1	12	10	22								
	5-2	13	11	24								
6	6-1	20	13	33								
特学	たけのこ ひまわり	3 3	2 1	5 4								
計		124 4	127 7	251 1	計	35	42	45	49	47	33	251

8. 教職員一覧



境剛志小学校

令和六年度 学校要覧

校 歌

一 窓から見える 広瀬川
みどりにもえるアカシアの
影をうかべて流れてる
ああ美しい学びやよ
みんなのほこり剛志小

二 通うこの道 土手の道
赤城も利根もあの森も
みんな仲よしお友だち
心ひとつに手をとって
元気で進もう剛志小

三 広いくわ畑 青い風
小鳥も歌うこの窓に
雲がとぶとぶ遠い空
両手をあげて胸はれば
希望あふれる剛志小

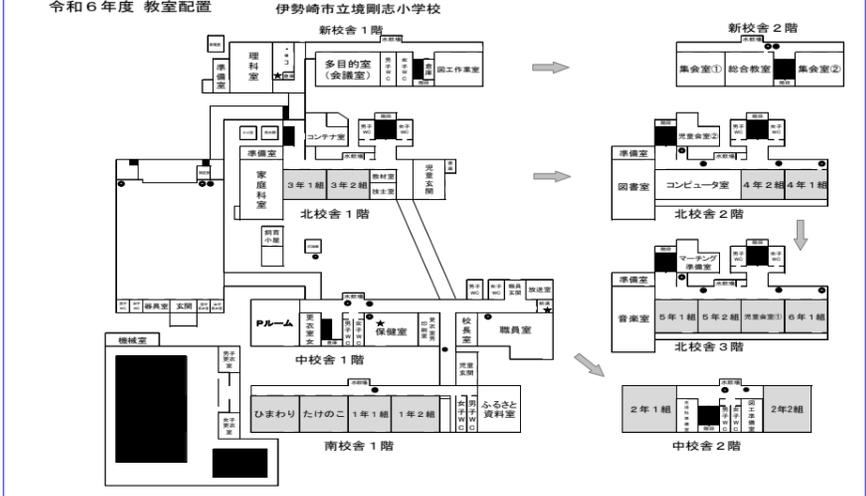
〒370-0126 伊勢崎市境下武士831
電話 0270-74-0037 FAX 0270-74-0481
URL <http://www.isesaki-school.ed.jp/sakaigoushisyo/>

1. 本校の概要

(1) 学校の沿革

明治	6. 11. 20	小此木小学校開設
	7. 8. 15	武士小学校開設
	19. 4. 1	佐位第十一尋常小学校本校（上武士村）及び仮教場（小此木村）となる
	22. 4. 1	剛志村公立剛志尋常小学校本校(上武士村)及び仮教場(小此木村)となる
	23. 5. 14	現在地に、剛志尋常小学校校舎が完成する
		上武士本校及び小此木仮教場より移って授業を開始する
	34. 4. 23	剛志尋常高等小学校となる
昭和	16. 3. 31	剛志村国民小学校となる
	22. 4. 1	剛志村立剛志小学校となる
	29. 9. 1	学校給食開始される
	30. 4. 1	佐波郡境町立剛志小学校と改称する
	31. 1.	県給食大会において受賞する
	33.	県教育委員会の科学教育研究指定校となる
	48. 8. 28	剛志小学校建築起工式を行う
	57. 8. 7	屋内運動場竣工する
	63. 8.	合同調理場新築する
平成	3. 8.	プール完成竣工式を行う
	7. 1.	パソコン1台導入する
	8. 9.	ふるさと資料室完成する
	9. 10.	県小学校陸上教室記録会　女子4×100mリレーで1位入賞
	10. 4.	給食、センター方式となる
	11. 7.	コンピュータ教室完成する
	12. 3.	職員室・校長室改修する
	14. 8.	旧給食室改修し、理科室・多目的室・会議室にする
	15. 1.	優良P T A群馬県教育委員会表彰
	16. 1.	各教室にパソコンを設置する
	16. 3.	生活科室改修工事を行う
	16. 11.	校舎外壁塗装工事を行う
	17. 1. 1	市町村合併により、伊勢崎市立境剛志小学校と改称する
	18. 3.	新校舎を増築する
	18. 8.	職員室を増築、中校舎出入口を改修する
	19. 8.	校舎及び体育館出入口を改修する
	21. 10. 28	県小学校陸上教室記録会　男子4×100mリレーで2位
	24. 8.	エアコンを全教室に設置
	26. 3.	南校舎屋上改修工事を行う
	26. 10.	北校舎8教室のロッカーを改修する
	27. 2.	校舎内9箇所のトイレを改修する
	27. 2.	プールの塗装を部分改修する
	27. 3.	北門門扉の改修を行う
	28. 1.	北校舎の耐震工事を行う
	29. 1.	校庭遊具チェーンネットの撤去・新設工事を行う
	30. 2.	プール内壁の塗装工事を行う
	31. 2.	プール西フェンスを撤去し、新設工事を行う
令和	2. 2.	体育館屋根改修工事を行う
	3. 1.	インターネットブレイクアウト回線開通工事
	5. 1.	体育館LED照明設置

(2) 教室配置



2. 学校経営

(1) 学校教育目標

【基本目標】

心身ともにたくましく、知性と感性に富み、社会の変化に的確に対応できる「生きる力」を身に付けた児童の育成

【具体目標】

- ① よく考える子　　<知>
 - [基礎・基本を身に付け、自ら課題に取り組み、進んで学習する子]
- ② 思いやりのある子　　<徳>
 - [自他の良さを認め、なかよく助け合う思いやりのある子]
- ③ じょうぶでたくましい子　　<体>
 - [明るくたくましく、心身ともに健康な子]

【目指す児童像】

『“元気”“やる気”“勇氣”漲る、未来を見据える子供』

(2) 目指す学校像

『楽しさ』『おもしろさ』『喜び』にあふれる学校

楽しさ・おもしろさが行動の原動力となる。自分がよりよくなったという実感が喜びを生み出す。『楽しい!!』『おもしろい!!』『うれしい!!』 気持ちがあふれる学校づくりを推進する。

(3) 学校経営の方針

○「自律する力」を育て、高める

「自律する」=自分で判断して、自分で決断して、結果をすべて自分のこととして受け入れる

- 生活者、学習者として自律する力を育て高める
- 自分の思考過程や行動を振り返る場面を設定し、内省を促すことで、生活者、学習者として自己調整力を育て高める
- 自己決定を促す指導を実践する
- セルフマネジメント力を育て高める

○「なりたい自分」を目指す心を育て、自分の成長を実感させる

- 将来の夢、目標(なりたい自分)を持ち、未来を生き抜くための力を育て高める
- 自分の中の成長に目を向けさせ、少しでも成長した自分を実感させ、自己肯定感を育て高める
- ライバルは自分自身であり、今までの自分に挑戦する心を育て高める
- 結果を認めるのではなく、その過程での子供の頑張りを認め、自己有用感を育て高める

○人間関係形成力を育てる

- 多様性、良さを認め、それぞれのよりよい成長を促し合える人間関係形成力を育て高める
- 他者との対話におけるコミュニケーション能力、スキルを身に付ける
- 自分の内面を表現する力を育て高める
- 地域の教育力を活用し、社会総がかりで子供の成長を促すとともに、子供が地域、社会に参画することを通して自己肯定感・有用感を育て高める

(4) 本年度の具体的努力点

学校教育目標、伊勢崎市教育構想を踏まえ、児童・保護者・地域の実態に応じて、質の高い教育活動を推進し、学校経営の活性化に努め、子供の成長を促す

○豊かな人間性の育成

- 子供を肯定的・共感的に受け止め(「ほめる」「認める」「励ます」支援)、心理的安全を確保し、子供のよさや意欲を引き出し、自己肯定感を育て、目標に向けて粘り強く取り組めるようにする。
- 自己決定して行動する場面を意図的に設定し、自律する力を身に付けられるようにする。
- 個の成長を認め、褒め、賞賛することで、学級全体の文化レベルを引き上げ、集団としての力を高められるようにする。
- 一人一人に応じた活躍できる場や機会(授業・児童会活動・学校行事・学級活動等)を意図的に設定し、進んで学ぶ気持ちや責任を果たそうとする態度を身に付けられるようにする。
- 学校行事等を通して、集団への所属感や連帯感を深め、検証可能な目標を設定し、やり遂げる成就感や目標を達成する達成感を感じられるようにする。(自己肯定感、自己有用感を育て高める)
- 多様性やそれぞれの良さについて考え受け止め、子供が互いのよさを見つけ、温かい人間関係を築き、共生社会を築こうとする資質、能力を身に付けられるようにする。
- 年齢に応じた基本的な生活習慣やスキルを身に付け、自ら考え適切に行動できるセルフマネジメント力を育て高める。
- 自己管理能力や危険察知能力を育て自分の命と安全を守るための具体的な方法を考え、実践できるようにする。
- 適切な運動量や運動経験の確保を図り、運動する喜び、体力の向上に努めるとともに、食育等の健康教育を充実させ、健康な体づくり推進する。

○学力向上

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。
- 子供の学習状況を的確に把握し、実態に応じた効果的な支援を行い、誰一人取り残さない、わかる授業・楽しい授業を実践する。
- 実態に応じて工夫した対話活動を行うことで、協働的に学ぶことの楽しさや意義を実感しながら、思考力や判断力、表現力を高める。
- 「次は何をすればいいの？」から「次はこうしたい!」を引き出す、学習者主体の学び充実させる。
- 自分の思考過程や学習過程を振り返り(自己内対話・内省)、自己調整をしながら、「学び方」を身に付ける。
- ICT機器を活用し、課題を解決する場面で、学習履歴が振り返りの対象となるような、蓄積の仕方や活用方法について検討し、授業を実践する。
- 「できる喜び」「分かる楽しさ」を味わいながら、学びに見通しをもって粘り強く取り組めるようにする。
- ICT機器を活用した授業改善の推進により、授業に対する満足感、解決への納得感を味わいながら、自律した学習者を育てる。
- 境剛志小スタイルの授業づくりの実践に努め、「質の高い学び」により、児童に「なぜ?」「なるほど!」「もっとやってみたい!!」という「疑問から気付き、わかる喜び」が実感でき、主体的に学ぶ意欲を引き出す授業を実践する。
- 境剛志小スタイルの授業である学習意欲を高める「導入」の工夫、「気付き」を深め広げるための「伝え合い、認め合う活動」の充実、「まとめと習熟の活動」による確実な基礎学力の定着と「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を実践研究し、指導力の向上に努める。
- 「授業が勝負」を合い言葉に、校内研修を充実させ、教師の指導力の向上に努める。
- 検証改善サイクルに沿う目的が明確な研修により、「主体的・対話的で深い学び」の推進を図ることで、子供が学習過程を大切にし、自分事として学びを深められるようにする。
- 情報の収集、的確に取捨選択し、主体的に捉え、目的に応じて活用する「情報活用能力」を育て高める学びを充実させる。
- 言葉や数量に関する基礎的な力を発揮しながら課題解決を図る機会を充実することで、意欲的に基礎力が身に付けられるようにする。
- 教科担任制を積極的に活用し、きめ細かな指導の充実を図るとともに、主体的に楽しく学ぶことでコミュニケーション能力や学力の向上を図る。

○未来を生きる人を育てる

- なりたい自分を目指し、将来の夢や目標に向かって、日々の生活や学習に意欲をもてるよう、自己の生き方を振り返る授業、多様な生き方にふれる体験活動、将来までを見通したキャリア教育を実践する。
- 小中連携及び剛志学府を軸とした9年間の一貫教育を踏まえ、心身ともにたくましく、知性と感性に富み、社会の変化に的確に対応できる「生きる力」を身に付けた児童を育成する。
- ふるさととのよさに気付き、誇りや愛着をもち、地域、社会に貢献しようとする意欲をもてるよう、地域の方々との交流や体験活動を実施し、子供の成長のため地域の教育力を活用する。
- 地域の中の一員としての自覚や、よりよい地域社会を創ろうとする意欲をもてるよう地域の行事や公民館事業へ積極的に参画することを推奨する。
- よりよい社会の創り手となる資質や能力を身に付けられるよう、いせさき教育アンバサダーやカリキュラムパートナーとの連携により、最先端の知識や技術、高い志にふれる特別授業を実践する。

- 「ふるさと資料室」の運用の活性化(学習センター的機能、地域コミュニティ機能)により、地域への愛着や誇り、学んだことを地域へ還元することを意識させ、地域を担う志を持つ児童を育てる。
- 地域の特色を生かした各教科等での「ふるさと学習」を実践する。
- 学校ホームページの随時更新やマスコミの活用を図り、学校の教育活動の成果を発信し学校への理解を深める。
- 学府連携協議会や学校評議員会、学校評価の結果から家庭や地域社会の願いを理解し、学校教育に活かす。

3. 校内研修

①研修主題 『自ら考え、共に学びを深める児童の育成』

― 気付き、伝え合い、認め合う活動を通して―

②研修のねらい

小中連携を推進し各教科各領域において、積み重ねたことをもとに「わかる喜びを味わえる境剛志小スタイル」での授業実践を徹底し、気付きのある授業や伝え合い、認め合う活動を取り入れ、児童自身が気付きを広げ「もっとやってみたい!」と実感できる授業展開の工夫を図る。